

令和 6 年 5 月 15 日現在

機関番号：37111

研究種目：基盤研究(C)（一般）

研究期間：2021～2023

課題番号：21K02733

研究課題名（和文）重症心身障害児における注意の制御と二項関係形成に関する支援要因の検討

研究課題名（英文）Study on Examination of Support Factors for Attention Control and Dyadic Relationship Formation of Children with Severe Motor and Intellectual Disabilities

研究代表者

徳永 豊（Tokunaga, Yutaka）

福岡大学・人文学部・教授

研究者番号：30217492

交付決定額（研究期間全体）：（直接経費） 3,200,000円

研究成果の概要（和文）：障害が重度な子どもの発達を評価するために、人や物とのつながりである二項関係形成、またその前提となる覚醒行動、注意焦点化（定位反応、注視）、注意持続の項目を含む「受止め・対応リスト」とその「評価シート」を開発した。それらを活用する際には、子どもの行動のばらつきを考慮するとともに、働きかける大人の違いや子どもの姿勢の影響が大きいことが明らかとなった。よって、評価する際に人や場所を固定して、繰り返しつつ評価することが必要と考えられた。

研究成果の学術的意義や社会的意義

障害が重度な子どもは、発達初期に留まる場合が多く、人とのつながり、物とのつながりである二項関係を形成し、その相互作用を豊かにすることが重要になる。そのつながりの前提には、覚醒行動、注意焦点化（定位反応、注視）、注意持続などが含まれる。これらの行動評価を踏まえて、大人の働きかけを工夫することが、その療育や教育の基礎となる。これらの行動評価に活用可能な「受止め・対応リスト」とその「評価シート」の活用は、臨床的な意義が高いと考えられる。

研究成果の概要（英文）：To evaluate the development of children with severe motor and intellectual disabilities, "Reception and Response List" and "Assessment Sheet" were developed. These includes items such as the formation of dyadic relationships, which are connections with people and objects, as well as the prerequisites for this, such as arousal behavior, focusing of attention (orientation response, gaze), and sustained attention. When using these, it has become clear that it is necessary to consider the variability in children's behavior, and that differences in the adults who work with them and the children's postures have a large impact. Therefore, it is considered necessary to fix the people and place when conducting the evaluation and to repeatedly evaluate them.

研究分野：特別支援教育

キーワード：重症心身障害 注意 二項関係

1. 研究開始当初の背景

従来の障害や発達障害に比べると重症心身障害のある子どもへの対応は遅れていて、子どもが人や物とつながる二項関係 (dyadic representations) の形成の基礎となる力の検討がされていない。

2. 研究の目的

1) 覚醒行動、注意焦点化 (定位反応、注視)、注意持続、注意追随、選択的注意、注意抑制、注視切替などの行動チェックリスト (「二項関係形成チェックリスト」と、「新版K式発達検査2001」による縦断的な発達評価を実施し、発達初期の行動を評価する「二項関係形成チェックリスト」の外部妥当性を検討し、その改訂を行う。

2) 重症心身障害の場合、コミュニケーションの発達水準は生後6か月前後未満の場合が多く、注意関連行動の発達変化が重要になる。これらに焦点を当てた支援者との相互交渉の状況を分析し、評価のためのリストやシートを提案する。

3. 研究の方法

1) 重症心身障害児が教育を受けている特別支援学校の10名の教諭 (各教諭1事例ないし2事例) に発達評価を実施、その手続や結果について検討する。そして、「1ヶ月」「2ヶ月」「4ヶ月」「6ヶ月」に該当する事例を選択する。この4グループは、子どもの注意行動の特性に基づく段階である (大藪、2004)。選択した事例については、担当教諭とその発達評価の状況を詳細に確認する。

2) 「1ヶ月」「2ヶ月」「4ヶ月」「6ヶ月」の発達水準と判断された子どもを対象に、玩具遊びの相互交渉場面 (支援者との玩具遊び) 及び支援者の段階的な働き掛け場面において、子どもと大人の行動を記録する。玩具遊び場面における段階的な働き掛け場面で、働き掛けに応じる行動として、覚醒行動、注意焦点化 (定位反応、注視)、注意持続、注意追随などの注意関連行動を分析する。

これらの研究の結果をまとめ、重症心身障害の二項関係成立の基礎となる覚醒行動、注意焦点化 (定位反応、注視)、注意持続、注意追随などを含む注「二項関係形成チェックリスト」 (外界の受止め・対応リスト) の改訂に取り組む。

4. 研究成果

研究成果として、「外界の受止め・対応リスト」の要素とその概要や「外界の受止め・対応評価シート」などを示した。

(1) 「外界の受止め・対応リスト」の要素

これらの要素としては、覚醒や注意の芽生え・外界への指向、反応行動・自発行動である。

1) 子どもにとっての覚醒

生まれて間もない乳児は、昼夜の区別がなく眠りと授乳を繰り返す。その後、母親を含めた環境からの働きかけで、睡眠に加えて覚醒している状態が出現する。子どもの発達として、昼間に「目を醒ますこと」の獲得ともいえる。その力を身につけることが発達的には重要である。

この覚醒・意識の状態を評価する指標の一つに、「乳児用 JCS (Japan coma scale)」 (長村、2012) がある。これは、病院の救急外来などで、小児の意識障害を評価するものである。これを参考に、子どもの覚醒を評価する項目を整理した。

まず、大人の働きかけがない状況で、どの程度で覚醒しているかを示す段階である。授業中など、覚醒してほしい時間の覚醒状態を確認する。子どもの行動としては、「多くは覚醒している」「半分ほど覚醒している」「多くは覚醒していない」の段階であり、授業中に比較的覚醒しているのであれば、スコア1となる。

次に、大人の働きかけがある状況で、どの程度で子どもが覚醒しているかの段階である。大人の働きかけの程度として、体をゆすぶるなどの「強い働きかけ」があり、また名前を呼びかけるなどの「わずかな働きかけ」に対する子どもの応答の段階である。それに対応する覚醒の程度が3段階であり、その組み合わせが示されている。

2) 子どもにとっての注意の芽生え・外界への指向

これらの段階を活用して明確にしようとしていることは、子どもが外界を捉える力であり、心のサーチライトを照らせるか (覚醒しているか)、しっかり照らすことができるか (スコア1)、わずかに照らすことができるか (スコア0.5) について評価することである。「指向 (orienting)」とは、「外界を捉えようと指向する程度」であり、「注意 (attention)」とは、外界の領域や特定の対象に、意識を向けることを意味する。

子どもによっては、目は開けているものの、外界を指向する様子は少なく、覚醒しているか否かを判断する手がかりが少ない場合がある。段階とするとスコア1とスコア0.5の間ではないかと考えられる。

3) 注意行動

それぞれの段階の注意の状態と特徴的な行動について、これまでの臨床的な事例を想定しな

がらまとめると、次のものになる。

○外界への指向（スコア0.5）

覚醒不活動（Alert in Activity）と呼ばれる状態が特徴であり、ある時間で覚醒して、外界にアンテナをはり、何かの変化を受け止める状態にある。だけど、特定の領域や対象に注意を向けている行動はみられない。また、手足を動かすような行動もない。目の動きや表情から、内側にこもっているというより、こちらを見ている感じがある。

○外界への注意（スコア1）

外界における変化や活動に出あい、ふれあう体験が主である。例えば、特定の領域や対象（光や音等）に注意を向け、その変化に反応する。あるいは抱っこや授乳等の活動に身構えるといった反射的対応が生じたり、深い呼吸や表情の変化が生じたりする。

○弱い注意の焦点化（スコア1.5）

覚醒して、弱い注意の焦点化がみられる。音がすると動きを止めるかのような行動、声を聞いて動きを止めるかのような行動など、反応的行動、弱い自発的行動がみられる。明らかに人に向かったり、物に向かったりする行動ではない。

○注意の焦点化（スコア2）

音が鳴ったり、物が動いたりする外界の変化に気づきが生じ、興味を示すようになる。それによって、短い間隔ではあるが、外界の対象や事象に注意を焦点づけたり、方向づけたりするようになり、自らの注意を意図的に調節するようになる。

○外界への指向なし（スコアL）

覚醒の状態も続かずに、外界を捉えようとする兆候もない。たまに、目を開け覚醒し、呼吸はある。でも、表情、目の動き、呼吸や体全体から、私がおその子どもの心的状態を推測できない感じをもつ。

このように外界への指向・注意を段階的に位置づけることで、学習評価の視点が細やかになると考えられる。

4）反応行動と自発行動

反応的行動は、大人からの働きかけに即時的な反応はあるかを評価し、自発的行動は、探索的などの自ら始発する行動があるかを評価する。反応的行動では、大人からの触る、触れる、声かける、動かす等の働きかけにどう応じるのか、応じやすい働きかけはどの種類なのか、反応が生じやすい働きかけを検討する。さらに、状態が良いときの具体的な行動を手がかりとする。自発的行動では、どのような促しの働きかけが自発的な行動につながるのか、その行動は表情なのか、目の動きなのか、手の動きなのかを検討する。さらに、状態が良いときの具体的な行動を手がかりとする。このように、期待できる行動を書き出すことで、わずかな変化を捉えて、評価の対応となる行動を見付け出すことにつながる。

（2）「外界の受止め・対応リスト」の概要

重症心身障害の場合、多く子どもは、Sスケールのスコア1やスコア2に留まる状況と考えられる。つまり、行動的には新生児の段階や生後2カ月頃の段階である。場合によればスコア1やスコア2でなく、スコア4の行動が可能であり、人や物に注意を向け、その注意を持続することができる場合もあるかも知れない。これらの子どもの実態把握や目標設定を検討する場合、現状のSスケールであれば、スコア1、スコア2、スコア4の段階意義と行動項目を活用することになる。しかしながら、スコア1、スコア2、スコア4の3つの段階では、段階の幅が広く、重症心身障害の子どもの実態把握や目標設定のためには、手がかりとする情報に限界がある。

そこで、新たな視点、要素を盛り込んで、図に示すSスケールの「受止め・対応リスト」を、つまり「外界の受止め・対応リスト」を作成した。

1）段階の増設

まず、スコア1以下に、「スコアL」と「スコア0.5」を位置づけた。さらに、スコア1とスコア2の間に、「スコア1.5」を位置づけ、スコア2とスコア4の間に、「スコア3」を位置づけた。その結果、これまでスコア4までを「3段階」としていたものが、「7段階」に増えたことになる。

発達の特徴を把握しこれらの段階を検討していくと、スコア0.5を位置づけることに意味があるのかという意見や、スコア3とスコア4を区別していくのは、発達の理解からすると難しいとする意見がある。

これらの意見を踏まえつつ、試行的に実態把握と目標設定を繰り返しながら、妥当性のある受止め・対応リストになればと考えて、提案している。

2）スコアLの意義

特別支援学校の事例の中では、働きかけに対して、表情や目の動き、瞬き、呼吸の変化を、こちらが捉えることが難しい場合がある。私自身の臨床として、交通事故の後遺症の青年で、眼球の動きや表情の変化が見られない事例で働きかけに悩んだことがあった。

スコアLに留まる場合は、重症心身障害や重度・重複障害といわれる子どもの数パーセント程度かも知れない。わずかかも知れないが、現実として存在して、その子なりの命を輝かせている。

確かに、スコア1やスコア2の場合、障害は重度で重複しているわけだが、覚醒して注意を外界に向け、さまざまな活動に取り組む場合がある。これらの、覚醒し注意を外界に向ける行動は、大切な「生きる力」であることを自覚する上でも、「スコアL」という見方を意識することは貴

重であると考えられる。

そして、スコアLの場合は、学ぶ上での難しさ、生きる上での難しさがあることを踏まえながら、その子らしい生き方と日々の生活が充実することを願いつつ、生活を支援していくことが求められる。

3) スコア4までを7段階で

スコア4までを7段階にし、段階をみていく視点は、「覚醒」「外界への指向・注意の焦点化」「反応行動・自発行動」であり、それぞれの行動出現の程度で7段階を位置づけた。これらの段階を検討する視点として、従来の発達段階の意義(段階意義)に加えて、発達レベルの要素(レベルの要素)を活用している。

外界の受止め・対応リスト(ススケール補助リスト) 2024、3、9						
氏名		1) 年 月 日 (歳 カ月) 評価者氏名 ()				
生年月日		2) 年 月 日 (歳 カ月) 評価者氏名 ()				
スコア	段階意義	聞くこと	話すこと	読むこと	書くこと	数と計算・量と測定 図形
	レベルの要素					
6	やりとりや行動の増加と手振、音声や表情による対応や反応、生来の反応、事の単純な操作、身体動作	<input type="checkbox"/> 「1,2の目」で、3の目に期待する表情をさせる <input type="checkbox"/> 「いけません」などの声で興奮がとまるが、表情が変わる <input type="checkbox"/> アーなど簡単な音であれば反応するような行動をする	<input type="checkbox"/> すでに知っていることに期待して求める <input type="checkbox"/> 大人の指を指し、「アー」「ウー」と声を出し対応する <input type="checkbox"/> 指を指し表情を変えて対応する	<input type="checkbox"/> おもちゃを口に持っでいせながら見る <input type="checkbox"/> 180度、足でものを送る <input type="checkbox"/> おもちゃの車や転がるボールを目で送る	<input type="checkbox"/> 目の前のおもちゃに手を伸ばしつかむ <input type="checkbox"/> 怒らせるとガラガラ等を転る <input type="checkbox"/> 顔にかけられたタオル等を取る	<input type="checkbox"/> 手に持ったものを口に持っていく見る <input type="checkbox"/> 積み木にさわって倒す <input type="checkbox"/> ガラガラを叩く
	他者への注意と反応、発声、生来の特徴、外芽を立向した手振動作、頭等の動作	<input type="checkbox"/> あやされると笑う <input type="checkbox"/> 声をかけられると表情で反応する <input type="checkbox"/> 特定の声による反応する	<input type="checkbox"/> 名前を呼ばれると反応する <input type="checkbox"/> 「アー」「オー」「ウー」など声を出す <input type="checkbox"/> 欲しい人やおもちゃなどに向かって、声を出す又は手を伸ばす	<input type="checkbox"/> 欲しい人に微笑むなど特異的に反応を集中し見る <input type="checkbox"/> 母親や身近な人に反応し見つける <input type="checkbox"/> 図案などを見つけている	<input type="checkbox"/> 手に触れた物をつかむ <input type="checkbox"/> 抱っこしよ 泣くと身構える <input type="checkbox"/> 欲しい人へ手を伸ばす	<input type="checkbox"/> 物に手を伸ばす <input type="checkbox"/> 持たせると物をもつ <input type="checkbox"/> ゆっくりと物を目で送る
4	選取反応、人への反応行動、泣き自発行動	<input type="checkbox"/> 声かけの速い、表情が異なる <input type="checkbox"/> 特定の声にわずかに反応する	<input type="checkbox"/> 「ウー」「ウー」と声を出す <input type="checkbox"/> 自分で手を動かす	<input type="checkbox"/> 人の顔を3秒ほど見る <input type="checkbox"/> 物を3秒ほど見る	<input type="checkbox"/> 抱っこしよ 泣くと身構える <input type="checkbox"/> 顔や手足を自分で動かす	
	外芽の増加と生来の反応、泣き自発行動	<input type="checkbox"/> 音がするとそちらを見る <input type="checkbox"/> 音や声のするほうに顔の方を転る <input type="checkbox"/> 声を見て、その人を見る	<input type="checkbox"/> 指を指されると微笑む <input type="checkbox"/> 手を自分でわずかに動かす <input type="checkbox"/> むずがるように泣く	<input type="checkbox"/> 人の顔を1秒ほど見る <input type="checkbox"/> 物を1秒ほど見る <input type="checkbox"/> おもちゃを差し出すとそれを見る	<input type="checkbox"/> 顔や手足をわずかに動かす <input type="checkbox"/> 手が口に動く <input type="checkbox"/> からだを伸ばす、そらす	<input type="checkbox"/> 音や動き、先に視線・注目を向ける <input type="checkbox"/> 音や光の変化で、行動が止まる <input type="checkbox"/> 目の前の物に興味がある注視をする
3	泣き生来の特徴、強い人への反応行動、自発行動	<input type="checkbox"/> 音がすると動きを止めるような行動がある <input type="checkbox"/> 声を見て動きを止める/顔を向けるような行動がある	<input type="checkbox"/> 手を触られると、自分でわずかに動かすような行動がある <input type="checkbox"/> 触って指を指されると、動きを止めるような行動がある	<input type="checkbox"/> 人や物をちらっと見る <input type="checkbox"/> おもちゃを差し出すとちらっとそれを見るような行動がある	<input type="checkbox"/> 手をわずかに動かすような行動がある <input type="checkbox"/> 揺する指を指して表情が変わるような行動がある	
	外芽の増加や行動への反応、反応行動	<input type="checkbox"/> 人の声やある音が気づき、反応する <input type="checkbox"/> 人の声で表情が変わる <input type="checkbox"/> 音で指を指さなくても、ある程度は反応している	<input type="checkbox"/> いやがる、泣く <input type="checkbox"/> 発声の反応特異に、強弱して身構える* <input type="checkbox"/> 顔を揺がれると泣かぬ	<input type="checkbox"/> 人の顔をちらっと見るような行動がある <input type="checkbox"/> 明るさや光の変化に気づき、反応する* <input type="checkbox"/> 目の前に、物を差し出されると、わずかに注目を向ける	<input type="checkbox"/> 急に抱きかかえられると身構える <input type="checkbox"/> 揺られると、気づき反応する* <input type="checkbox"/> 動かさられなくても、ある程度は反応している	<input type="checkbox"/> 明るさや光の変化に気づき、反応する* <input type="checkbox"/> 動かされることに気づき、反応する* <input type="checkbox"/> 発声の音や光に、気づき、反応する*
2	選取反応、泣き自発行動	<input type="checkbox"/> 音がすると動きを止めるような行動がある <input type="checkbox"/> 声を見て動きを止める/顔を向けるような行動がある	<input type="checkbox"/> 手を触られると、自分でわずかに動かすような行動がある <input type="checkbox"/> 触って指を指されると、動きを止めるような行動がある	<input type="checkbox"/> 人や物をちらっと見る <input type="checkbox"/> おもちゃを差し出すとちらっとそれを見るような行動がある	<input type="checkbox"/> 手をわずかに動かすような行動がある <input type="checkbox"/> 揺する指を指して表情が変わるような行動がある	
	外芽の増加や行動への反応、反応行動	<input type="checkbox"/> 人の声やある音が気づき、反応する <input type="checkbox"/> 人の声で表情が変わる <input type="checkbox"/> 音で指を指さなくても、ある程度は反応している	<input type="checkbox"/> いやがる、泣く <input type="checkbox"/> 発声の反応特異に、強弱して身構える* <input type="checkbox"/> 顔を揺がれると泣かぬ	<input type="checkbox"/> 人の顔をちらっと見るような行動がある <input type="checkbox"/> 明るさや光の変化に気づき、反応する* <input type="checkbox"/> 目の前に、物を差し出されると、わずかに注目を向ける	<input type="checkbox"/> 急に抱きかかえられると身構える <input type="checkbox"/> 揺られると、気づき反応する* <input type="checkbox"/> 動かさられなくても、ある程度は反応している	<input type="checkbox"/> 明るさや光の変化に気づき、反応する* <input type="checkbox"/> 動かされることに気づき、反応する* <input type="checkbox"/> 発声の音や光に、気づき、反応する*
1.5	選取反応、泣き自発行動	<input type="checkbox"/> 音がすると動きを止めるような行動がある <input type="checkbox"/> 声を見て動きを止める/顔を向けるような行動がある	<input type="checkbox"/> 手を触られると、自分でわずかに動かすような行動がある <input type="checkbox"/> 触って指を指されると、動きを止めるような行動がある	<input type="checkbox"/> 人や物をちらっと見る <input type="checkbox"/> おもちゃを差し出すとちらっとそれを見るような行動がある	<input type="checkbox"/> 手をわずかに動かすような行動がある <input type="checkbox"/> 揺する指を指して表情が変わるような行動がある	
	外芽の増加や行動への反応、反応行動	<input type="checkbox"/> 人の声やある音が気づき、反応する <input type="checkbox"/> 人の声で表情が変わる <input type="checkbox"/> 音で指を指さなくても、ある程度は反応している	<input type="checkbox"/> いやがる、泣く <input type="checkbox"/> 発声の反応特異に、強弱して身構える* <input type="checkbox"/> 顔を揺がれると泣かぬ	<input type="checkbox"/> 人の顔をちらっと見るような行動がある <input type="checkbox"/> 明るさや光の変化に気づき、反応する* <input type="checkbox"/> 目の前に、物を差し出されると、わずかに注目を向ける	<input type="checkbox"/> 急に抱きかかえられると身構える <input type="checkbox"/> 揺られると、気づき反応する* <input type="checkbox"/> 動かさられなくても、ある程度は反応している	<input type="checkbox"/> 明るさや光の変化に気づき、反応する* <input type="checkbox"/> 動かされることに気づき、反応する* <input type="checkbox"/> 発声の音や光に、気づき、反応する*
1	選取反応、泣き自発行動	<input type="checkbox"/> 音がすると動きを止めるような行動がある <input type="checkbox"/> 声を見て動きを止める/顔を向けるような行動がある	<input type="checkbox"/> 手を触られると、自分でわずかに動かすような行動がある <input type="checkbox"/> 触って指を指されると、動きを止めるような行動がある	<input type="checkbox"/> 人や物をちらっと見る <input type="checkbox"/> おもちゃを差し出すとちらっとそれを見るような行動がある	<input type="checkbox"/> 手をわずかに動かすような行動がある <input type="checkbox"/> 揺する指を指して表情が変わるような行動がある	
	外芽の増加や行動への反応、反応行動	<input type="checkbox"/> 人の声やある音が気づき、反応する <input type="checkbox"/> 人の声で表情が変わる <input type="checkbox"/> 音で指を指さなくても、ある程度は反応している	<input type="checkbox"/> いやがる、泣く <input type="checkbox"/> 発声の反応特異に、強弱して身構える* <input type="checkbox"/> 顔を揺がれると泣かぬ	<input type="checkbox"/> 人の顔をちらっと見るような行動がある <input type="checkbox"/> 明るさや光の変化に気づき、反応する* <input type="checkbox"/> 目の前に、物を差し出されると、わずかに注目を向ける	<input type="checkbox"/> 急に抱きかかえられると身構える <input type="checkbox"/> 揺られると、気づき反応する* <input type="checkbox"/> 動かさられなくても、ある程度は反応している	<input type="checkbox"/> 明るさや光の変化に気づき、反応する* <input type="checkbox"/> 動かされることに気づき、反応する* <input type="checkbox"/> 発声の音や光に、気づき、反応する*
0.5	選取反応、泣き自発行動	<input type="checkbox"/> 音がすると動きを止めるような行動がある <input type="checkbox"/> 声を見て動きを止める/顔を向けるような行動がある	<input type="checkbox"/> 手を触られると、自分でわずかに動かすような行動がある <input type="checkbox"/> 触って指を指されると、動きを止めるような行動がある	<input type="checkbox"/> 人や物をちらっと見る <input type="checkbox"/> おもちゃを差し出すとちらっとそれを見るような行動がある	<input type="checkbox"/> 手をわずかに動かすような行動がある <input type="checkbox"/> 揺する指を指して表情が変わるような行動がある	
	外芽の増加や行動への反応、反応行動	<input type="checkbox"/> 人の声やある音が気づき、反応する <input type="checkbox"/> 人の声で表情が変わる <input type="checkbox"/> 音で指を指さなくても、ある程度は反応している	<input type="checkbox"/> いやがる、泣く <input type="checkbox"/> 発声の反応特異に、強弱して身構える* <input type="checkbox"/> 顔を揺がれると泣かぬ	<input type="checkbox"/> 人の顔をちらっと見るような行動がある <input type="checkbox"/> 明るさや光の変化に気づき、反応する* <input type="checkbox"/> 目の前に、物を差し出されると、わずかに注目を向ける	<input type="checkbox"/> 急に抱きかかえられると身構える <input type="checkbox"/> 揺られると、気づき反応する* <input type="checkbox"/> 動かさられなくても、ある程度は反応している	<input type="checkbox"/> 明るさや光の変化に気づき、反応する* <input type="checkbox"/> 動かされることに気づき、反応する* <input type="checkbox"/> 発声の音や光に、気づき、反応する*
L	選取反応、泣き自発行動	<input type="checkbox"/> 音がすると動きを止めるような行動がある <input type="checkbox"/> 声を見て動きを止める/顔を向けるような行動がある	<input type="checkbox"/> 手を触られると、自分でわずかに動かすような行動がある <input type="checkbox"/> 触って指を指されると、動きを止めるような行動がある	<input type="checkbox"/> 人や物をちらっと見る <input type="checkbox"/> おもちゃを差し出すとちらっとそれを見るような行動がある	<input type="checkbox"/> 手をわずかに動かすような行動がある <input type="checkbox"/> 揺する指を指して表情が変わるような行動がある	
	外芽の増加や行動への反応、反応行動	<input type="checkbox"/> 人の声やある音が気づき、反応する <input type="checkbox"/> 人の声で表情が変わる <input type="checkbox"/> 音で指を指さなくても、ある程度は反応している	<input type="checkbox"/> いやがる、泣く <input type="checkbox"/> 発声の反応特異に、強弱して身構える* <input type="checkbox"/> 顔を揺がれると泣かぬ	<input type="checkbox"/> 人の顔をちらっと見るような行動がある <input type="checkbox"/> 明るさや光の変化に気づき、反応する* <input type="checkbox"/> 目の前に、物を差し出されると、わずかに注目を向ける	<input type="checkbox"/> 急に抱きかかえられると身構える <input type="checkbox"/> 揺られると、気づき反応する* <input type="checkbox"/> 動かさられなくても、ある程度は反応している	<input type="checkbox"/> 明るさや光の変化に気づき、反応する* <input type="checkbox"/> 動かされることに気づき、反応する* <input type="checkbox"/> 発声の音や光に、気づき、反応する*
スコア	段階意義	受け止め・対応	表現・要求	見ること	操作	外界の知覚認知
	レベルの要素	* 重複項目			国語	算数

図1 「外界の受止め・対応リスト」

(3)「外界の受止め・対応評価シート」の概要

重症心身障害の場合の評価について、子どもが示す行動について、教師による評価のばらつきが大きいことである。このばらつきについては、対応する教師や教材、活動の流れ等の変化で子どもが示す行動が異なる、さらに、その日の体調や午前・午後の時間帯、馴染みのある教室等の変化で子どもが示す行動が異なる、仰臥位か、座位かの姿勢によって、子どもが外界の変化を受け止め、働きかける行動が異なる、行動が微弱であるために、教師の行動の切り取り、意味づけに左右される部分が大きく、評価のばらつきにつながりやすい点があげられる。

そこで、重症心身障害の場合に、その評価がばらつくことへの対策として、「外界の受止め・対応リスト」を活用するにあたり、その基礎情報を収集するための「外界の受止め・対応評価シート」(評価シート)を考案した。

(4)教師が理解するための卵のモデル図

「スコア0.5」「スコア1」「スコア1.5」「スコア2」の子どもの状況を、教師が理解するための卵のモデル図を提案した。

(5)「外界の受止め・対応リスト」「外界の受止め・対応評価シート」の活用事例

重度・重複障害児の実態把握と目標設定について、3事例の児童について「学習到達度チェックリスト 2019」(徳永,2019)を活用した実態把握を実施した。それに加え、「外界の受止め・対応リスト」「外界の受止め・対応評価シート」も活用して詳細な実態把握を行った。それらの結果からこの実態把握のメリットと課題について報告した。

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計3件（うち査読付論文 1件/うち国際共著 0件/うちオープンアクセス 0件）

1. 著者名 税田慶昭・田中信利	4. 巻 59(2)
2. 論文標題 コミュニケーション行動の初期発達に関する医学的診断に基づく群間比較 - 生後8～18か月時の縦断的質問紙調査結果の後方視的検討	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 特殊教育学研究	6. 最初と最後の頁 63-72
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 徳永豊	4. 巻 806
2. 論文標題 「聞く・話す・計算する」の難しさへの気づき	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 教育と医学	6. 最初と最後の頁 2-3
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 徳永豊	4. 巻 13
2. 論文標題 重症心身障害のある子どもの実態把握、目標設定及び学習評価：Sスケール「補助リスト」と「外界の受け止め・探索行動の評価シート」	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 福岡大学研究部論集 B：社会科学編	6. 最初と最後の頁 1-16
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

〔学会発表〕 計0件

〔図書〕 計1件

1. 著者名 徳永豊	4. 発行年 2021年
2. 出版社 慶應義塾大学出版会	5. 総ページ数 80
3. 書名 障害の重い子どもの目標設定ガイド 第2版	

〔産業財産権〕

〔その他〕

6. 研究組織

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究 分 担 者	田中 信利 (Tanaka Nobutoshi) (90236612)	北九州市立大学・文学部・教授 (27101)	

7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計0件

8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関
---------	---------